

平成30年9月6日(木)、茂原市役所において、第4回「みんなで考える新市民会館ワークショップ vol.2」が開催された。この日集まった参加者は23名。今シーズン最終回となるテーマは「新しい市民会館の運営を考える」。まずは事務局より、施設の運営について、他の施設で行われている自主事業の事例などのレクチャーがあり、その後本日の作業内容へ入る。今回皆で考えることは4つ。まずはやってみよう。重点を置くべき「事業」について。次に、開館日や開館時間、貸出区分など施設の基本となる「規則」。3つ目はこの新しい施設を運営する「組織」について。そして4つ目が施設運営への「市民参加」。その他、運営の柱とした「こと」についても考えてもらう。さすが最終回、皆の意気込みが違つた。次々に付箋が貼られ、あつという間にまとめられていく。各テーブル、メンバー同士、熱い想いを語り合っていた。



※今期最後のワークショップ。いつも以上に議論が熱が入ります。思わずメンバー全員立ち上がる机も。

第4回テーマ のまとめ(抜粋)
新しい市民会館の運営を考える!

	事業	規則	組織	市民参加	その他
鈴虫	・参加、育成、交流事業 ・中高生の職業体験 ・舞台裏の見学ツアー ・子ども対象イベント ・まちや企業のPRや広報	・休館日：年末年始・毎(月) ・開館時間：9:00~22:00 ・貸出区分：午前/午後/夜間 + 諸室は時間制 ・利用料金：市内外設定 入場料金の一部寄付	・茂原オリジナルの運営方法 ・優れた人材(企画、広報等) ・館長の公募をする ・会館をサポートする 市民主体のNPO法人 ・半分を市出資の運営会社を	・市民ファシリテーターの育成 ・ボランティアサポーターから サポート組織実行委員会へ ・運営についての講座を開く ・近隣高校との連携・イベント ・まち全体のイベントと連携	・長生郡における広域の 文化芸術交流センターへ ・市内外の人を受け入れる 災害避難所として利用 ・市民会館と公民館の一体的な 運営をする
お月見	・ピアノリサイタル/ ピアノフェスティバル ・ミュージカル ・年1回コーラス団体の集い ・コンクール/演奏会 ・スタッフ養成	・休館日：年末年始・毎(火) ・開館時間：9:00~22:00 延長有 ・貸出区分：予約の一本化、 ネット予約対応 ・利用料金：平日格安料金設定、 ポイント制の導入	・指定管理者に地元住民を雇用 ・市民ボランティア ・中房総地区を代表する施設と して周辺市町村との連携企業体 ・文化+スポーツ財団設立 ・ネーミングライツの利用	・リーグチームのような サポーター制度、組織 ・草取り・掃除によるポイント制 ・市民参加の運営会議設置 ・高校生等の体験ボランティア ・財団と共催コンサート	・天然ガスを用いた暖房設備 ・木造のホール ・ケーブルテレビとの連携配信 ・100年後も使えるホールへ ・中房総や外房を代表する ホールへ
サファイア	・演劇・ミュージカルの鑑賞 ・オーケストラ・吹奏楽の発表会 ・落語、映画、古典芸能の上映 ・市内高校の総合文化祭 ・のど自慢 ・バックステージツアー	・休館日：毎(月)、年末のみ ・開館時間：8:30/9:00/10:00~ 21:00/21:30/22:00 ・貸出区分：午前/午後/夜間 ・利用料金：市民割引 ポイント制の導入	・市民サポーターの設置 ・市民による運営委員 +プロのアドバイザー ・色々なジャンルの芸術家 を専門家と呼ぶ	・市民サポーターの育成 ・事業運営方法の勉強会 ・運営委員会・広報に市民参加 ・市民によるカフェ運営 ・市民合唱祭、市民芸術祭 ・演劇ワークショップ	・市民サポーターの育成から 茂原のまちづくりへ ・ボランティアの育成 ・市民会館建設中に見学会実施
キキョウ	・貸館をメインにする ・教育機関・商工会議所・観光 協会・民間企業との連携企画 ・小中高の文化祭 ・ダンスワークショップ ・七夕まつりとの連携	・休館日：毎(火) or (木) 年末年始、お盆 ・開館時間：8:00/9:00~22:00 ・貸出区分：午前/午後/夜間 /深夜 延長対応 ・利用料金：市民割引・学生無料	・市内各専門団体の サポート組織化 ・半市民半官で早期立ち上げを ・設備関係を熟知した人 ・市内体育館・運動場と一元管理 ・ステージマネージャー	・草取りなどのボランティア ・ホール運営募金活動 ・サポーター立ち上げ、 サポーター登録制度を導入	・ネット予約・決済システム導入 ・LINE 予約 ・施設予約スケジュールは ネット上で閲覧可能に ・送迎システム

終わりに
本ワークショップでいただいたご意見は、平成31年3月策定予定の基本計画へ反映してまいります。
2ヶ年にわたってお送りした「YAPPE!」、これにて最終号です。皆様の熱い気持ち、お伝えできましたでしょうか?今後とも、新市民会館の動向を見守っていただけますと幸いです。どうぞご期待ください!

施設を生かせるかは運営にかかっている...
いよいよ発表へ。まずは鈴虫チームから。こちらは「片手にそろばん、片手にロマンを」と掲げ、中高生に今後を担ってもらいたいという想いから、職場体験事業の実施。オリジナルの運営方法を追求し、茂原らしさを求めていくという提案となった。次にお月見チーム。事業ではステージマネージャーなどスタッフ育成事業の提案。規則では早朝・延長利用など臨機応変な対応をとるという意見。茂原のまちをぐんぐんと引っ張っていきけるホールに、という言葉でまとめた。次はキキョウチーム。こちらは市民割引や学生無料制度を提案。運営は、半市民半官組織によって早期立ち上げを、という意見も。その他、ボランティア制度、ネットによる予約決済システムが必要という意見が出た。最後にサファイアチーム。事業では高校の総合文化祭の提案。規則では年中無休を売りにしては、という意見も。運営については直営指定管理をキーサービスで使い分け。その他、災害時を考え、カフェ・コンビニを設置すべきという意見もあった。

今年度も!
シンポジウム開催予定!
本ワークショップの成果を全茂原市民の皆様へお伝えすべく、今年度もシンポジウムを開催予定です! 詳細については随時発表いたします。
お問合せ
☎297-8511 茂原市道表1番地
茂原市役所 企画政策課 政策推進室
TEL: 0475-20-1516
FAX: 0475-20-1603
E-mail: kaikan@city.mobara.chiba.jp

なんでもアンケート (抜粋)

今年最後のワークショップでこれからのことをみなさんと考えられてよかったです。

カリスマがいるといいなど。音楽監督。40代~50代でもよい。

やはり、片手にソロバン、片手にロマン、だ!!

たくさんのご意見、ありがとうございました!

市民がテーマに沿って話し合える場ありがとうございます。市民会館できあがりまで(それ以降も)こういう市民参加の機会を設けていただきたいと思います。茂原が新しい時代に向け前向きに変革していると思います。

主体的な意見交換となって、期待の高まりを感じた。

運営の時間について、あえて他にない時間帯に使えるようにすることで利用者を広域から集められるのでは?と感じた

市民会館建設中に見学会をしたいです。出来上がってからのバックステージツアーより面白そうで、建設が終わってからは見ることが出来ないからです。

学生さん向けのWSをたくさんやりたい!

管理者・市民(専門の運営を知っている人材が望ましい)の意見が反映される組織と、若い人(高校生や20代の人)が中心になることが大切だと思いました。